

事例 17

多世代交流

～ 花がつなぐ地域のきずな ～

【泉区事例】緑園子ども見守りプロジェクト

団体紹介

- ・団体名：緑園地区活性化委員会
- ・活動者の受講年度：平成 25 年度（第 2 期生）
- ・委員数：約 30 名（令和 2 年度）
- ・活動実績：緑園地区活性化委員会 定例会（年 6 回）
子ども見守りプロジェクト
（花植え、贈呈式（年 2 回）） 等
- ・活用制度：泉区地域経営まちづくり支援補助金
泉区地域運営補助金



花の贈呈式の様子

活動内容

緑園地区活性化委員会は、泉区にある 12 地区の経営委員会の 1 つで、緑園地区に関する様々な課題の発見・整理や地域で解決できることについて実践的な活動をしていく組織です。委員の小島さんは、委員会の新たな取組である緑園子ども見守りプロジェクトの活動について検討するにあたり、様々な地域活動の事例を学ぶために、平成 25 年度の泉区まちづくりみらい塾を受講しました。

緑園子ども見守りプロジェクトは、緑園東小学校と緑園西小学校の生徒が育てた花を地域の皆さんの自宅の庭先や玄関前などに置き、手入れを行うことで子どもたちと関わり、見守りや防犯につなげる目的で平成 26 年度から実施されています。活動にあたっては、緑園地区活性化委員会が両校に通う児童の暮らす地区の 14 自治会町内会や区役所・県警等と連携し、毎年、春と秋の年 2 回、花苗の選定や贈呈を実施しています。

委員の皆さんから、「自治会町内会の役員だけでなく保護者も積極的に参加し、自治会町内会と子どもたちのよいつなぎ役になってくれている。地域みんなで取り組んでうれしい」という声をいただいています。また、贈呈式は両校交互に行われており、令和元年度は緑園西小学校にて実施され、両校の児童をはじめ、地域の関係者など約 150 人が参加しました。



花苗の選定の様子

令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により活動が中止となりましたが、学校等と調整したうえで、今後も続けていきたいと考えています。